

新宿区立 漱石山房記念館

令和7年度 / 年間スケジュール

令和7年は、夏目漱石のデビュー作『吾輩は猫である』の発表から120年を迎える節目の年です。この年を記念して「猫年」とし、猫に関連した多彩な展示やイベントを開催いたします。



ようやく吾輩の年が来た

漱石山房×©Yura Kouhi

《通常展》 テーマ展示

外国語になった漱石作品

令和7年4月24日(木) ▶ 7月13日(日)

英訳本 I am a cat は、『吾輩は猫である』の原書の初版から1年足らずで刊行されました。当時の新聞広告には、漱石作品の滑稽や、風刺を英文にする難しさがうたわれています。本展示では、英訳本を中心に、多言語に翻訳された漱石作品の文章とブックデザインを楽しめます。

I am a cat
Botchan
Nihyaku-tōka
La porte
Unhuman tour
Within my glass doors
Kokoro
The three-cornered world
The wayfarer

《通常展》 テーマ展示

そうせきとどうぶつたち

令和7年7月17日(木) ▶ 10月5日(日)

ねこ、いぬ、とり、ひつじ…さまざまな動物たちを漱石の作品中や身近なところに見ることができます。さて漱石は猫好きだったのでしょか。資料から漱石を取り巻く動物たちを紹介します。



「琴のそら音」画 橋口五葉

《特別展》 発表120年記念 『吾輩は猫である』

令和7年10月11日(土) ▶ 12月7日(日)

夏目漱石が小説「吾輩は猫である」を『ホトトギス』に発表したのが明治38(1905)年1月1日のことでした。その鮮烈な文壇デビューから120年、『吾輩は猫である』の作品世界と関連資料を紹介します。



『吾輩は猫である』上編 (大倉書店・服部書店) ジャケット

『吾輩は猫である』上編 (大倉書店・服部書店) 表紙

《通常展》 夏目漱石と漱石山房 其の三

令和7年12月13日(土) ▶ 令和8年4月19日(日)

漱石山房記念館の所蔵資料の核となる「松岡・半藤家資料」をはじめとした、当館が有する代表的な



早稲田南町の書齋に於ける漱石

資料を中心に「夏目漱石」と「漱石山房」をひもときます。また、学芸員の一推しのこだわり資料や新収蔵資料も紹介します。

※「松岡・半藤家資料」…漱石の長女・筆子と漱石門下生の作家・松岡謙の娘で、当館名誉館長の半藤末利子氏から新宿区に寄贈された資料です。

主な催し物

開催日時等、詳細は漱石山房記念館ウェブサイト、OH！レガス新宿ニュースでご確認のうえ、お申し込みください。

- 九日会……………漱石の月命日(9日)に、門下生たちが漱石を偲んで集まったことになむイベントです。
- 文学講座……………漱石の作品をより深く読み解く講座です。
- 開館記念講演会……………9月24日の漱石山房記念館開館記念日にちなみ開催する講演会です。
- 夜間イベント……………閉館以降、通常開館時には開催できないような催事を開催します。
- 文学さんぽ……………漱石ゆかりの場所や、作品にまつわる場所をめぐるります。
- 子ども向けイベント……………夏休み親子読書感想文講座など。
- 朗読会……………朗読団体と連携した、漱石や漱石にまつわる作品の朗読会です。
- 『吾輩は猫である』朗読劇……………声優による朗読劇です。

この他にもさまざまなイベントを予定しています。

記載内容に変更が生じる場合がございます。詳細は当館のウェブサイトにてご確認ください。

漱石山房記念館
ウェブサイトは
こちら



X公式
アカウントは
こちら

